

ハシナギイルカを個体識別する

小笠原における鯨類の個体識別といえば、尾ビレの様相や形が1頭1頭異なるザトウクジラや、イルカ通信でもおなじみのミナミハンドウイルカが代表的です。これらに加え、OWAでは、帝京科学大学と共同してハシナギイルカの個体識別調査にも取り組んでいます。

ハシナギイルカは水中観察をするには不向きなため、船上から撮影した背ビレの写真を使って個体識別を行います。動きが素早く、遠くから眺めているだけではどれも同じように見える背ビレでも、写真として動きを止めて、まじまじと見ることにより、1頭1頭の形の違いや欠損の有無を確認することができます。「背ビレだけでそんなに識別できるの?」と思われるかもしれませんが、2013年から撮影されたデータを基に180頭弱の個体を識別するに至っています。

また、これまで実施してきた父島列島での調査結果からは、少なくとも一部の個体が、長期に渡って父島列島周辺海域を通年利用していることが分かっています。加えて、2020年10月は母島列島でも調査を実施することができ、その結果から、父島列島と母島列島を移動する個体がいることも明らかとなりました。



ハシナギイルカ

特徴的なハシナギイルカの背ビレ

右下の個体は父島と母島の両海域で確認されています。



イルカカタログが本になりました!

『小笠原のミナミハンドウイルカ 個体識別カタログ2020』 A5判 120ページ 1300円+税

2019年までのミナミハンドウイルカの個体識別調査によって得られたデータを基に、最新版の個体識別カタログを作成しました。長年の調査から少しずつ明らかになってきたミナミハンドウイルカの生態や、最近5年間でよく確認されているイルカたちの情報が、一冊の本にぎゅっと詰まっています。背ビレや尾ビレから個体識別できる一覧表も掲載。ツアーで出会ったイルカがどの個体だったのか。気になる方は、ぜひお手に取ってみてください。

識別ポイント満載!



OWA事務所にてお買い求めいただけます。
近々、オンラインショップでも販売開始予定です。
(右のQRコードから)

